

男子

思に金棒!! 1部昇格へ進化した

積極的対話で築いた一
体感

専用トレーニング室でトップレベルの身体強化



選手にテープを施す星川コーチ

バスケットボールは体の接触が多い競技であり、フィジカルの強化は絶対に欠かすことのできないものである。江戸川大学男子バスケットボール部で身体強化を担当するのが古賀賢一郎ストレングスコーチだ。

「世間ではバスケットボール選手は背が高くてスラっとした印象を持

たれているかもしれない。実はうまくても速くても体が細ければ、やっていけない」と古賀コーチは話す。『体を大きくして、そのうえスピードやジャンプ力が落ちないトレンジングが必要』なのだ。

古賀コーチはBリーグ2部の東京2で指導歴がある。プロを見

てきた専門家として「バスケ部専

用のトレーニングルームあると

いうのは他の大学はない大きな強み」と江戸川大学の施設の充実を強調する。他部との兼ね合いを

気にすることなく、いつでも使

えるのが大きい。

部員は各自週に3、4日ずつト

レーニングルームを使用する。ボ

ジションや学年ごとの成長の度合

、コンディションなど見てメニ

ューを調整する。全ての学生を高

校生から大学バスケ仕様に強化

するためには、緻密なフォロー

が欠かせず、そのためには時間

も場所も必要なのだ。

ケガ予防などを担当する星川精豪

トレーナーも「目の届かないと

ころでトレーニングをすること

がない」と専用トレーニング室

の効果を説明する。サポートは入

学時のメディカルチェックから始

まり、トレーニング室を4年間使

うことで大学トップレベルの肉

体ができる上がる。

渡部は決して絶対的な存在ではなく、青木

監督は「どうするのだろう」と思っていた

と見守っていたという「波がある。キャ

ンパンがそれでは駄目」ただ、もしかしたら

勝負どころでしっかり点が取れるよう

な選手だ。ナッシュは現在NBAネットの監督

であり、現役時代から言行一致のリーダ

ーシップで知られる人物でもある。

1取材後記

▼高野晃平 女バスの皆さん

が取材をしやすい環境をつくり

て下さったためスマートに進め

ました。いろいろ勉強になりました。

▼成田あすか きれいに撮影する上や、

コミュニケーションなどを学びま

りました。貴重な経験がつき、嬉しい限りです。

▼高橋真力 スポエドを通して、コミュニケー

ーションの大切さや記事の重要性を学びま

りました。貴重な経験がつき、嬉しい限りです。

▼青木力 なかなか思うよう

にできませんでした。しかし、何とか成

せることができました。いろいろ勉強になりました。

▼澤井聰 記者としての意識を高められ

ました。貴重な経験がつき、嬉しい限りです。

▼吉田洋紀 文字起こしと写真撮影を担当

になりました。撮影の要領はもちろ

んと覚えていました。

▼高原和貴 試合撮影から取材、記事編集

までの流れを理解しました。

▼トウ・ギョウジ 取材、編集、写真の過

程を学ぶために新聞を作ろうと思っ

た。そこで、自分たちが何をや

ったのか、何をやるべきか

を理解しました。

▼大谷翔也 今初めて取材をして、話して

いることを文字にするのは大変だと感じた

が、それでも、自分の個性を見つけ出し、その情報を広げ

ていくことで良い作品へつなげられた感

じでいる。

▼澤井聰 人によっていろいろな表情

があり、同じような写真でも表情が少し違う

だけでも全く別の写真になってしま

う。だからこそ、自分が撮った写真

が、実際に取材をしないとわから

ないことが分かった。

▼古瀬皓也 レイアウトやメ

モリを決めて取材をして、話して

いた。そこで、自分たちが何をや

ったのか、何をやるべきか

を理解しました。

▼大谷翔也 今初めて取材をして、話して

いることを文字にするのは大変だと感じた

が、それでも、自分の個性を見つけ出し、その情報を広げ

ていくことで良い作品へつなげられた感

じでいる。

▼澤井聰 人によっていろいろな表情

があり、同じような写真でも表情が少し違う

だけでも全く別の写真になってしま

う。だからこそ、自分が撮った写真

が、実際に取材をしないとわから

ないことが分かった。

▼古瀬皓也 レイアウトやメ

モリを決めて取材をして、話して

いた。そこで、自分たちが何をや

ったのか、何をやるべきか

を理解しました。

▼大谷翔也 今初めて取材をして、話して

いることを文字にするのは大変だと感じた

が、それでも、自分の個性を見つけ出し、その情報を広げ

ていくことで良い作品へつなげられた感

じでいる。

▼澤井聰 人によっていろいろな表情

があり、同じような写真でも表情が少し違う

だけでも全く別の写真になってしま

う。だからこそ、自分が撮った写真

が、実際に取材をしないとわから

ないことが分かった。

▼古瀬皓也 レイアウトやメ

モリを決めて取材をして、話して

いた。そこで、自分たちが何をや

ったのか、何をやるべきか

を理解しました。

▼大谷翔也 今初めて取材をして、話して

いることを文字にするのは大変だと感じた

が、それでも、自分の個性を見つけ出し、その情報を広げ

ていくことで良い作品へつなげられた感

じでいる。

▼澤井聰 人によっていろいろな表情

があり、同じような写真でも表情が少し違う

だけでも全く別の写真になってしま

う。だからこそ、自分が撮った写真

が、実際に取材をしないとわから

ないことが分かった。

▼古瀬皓也 レイアウトやメ

モリを決めて取材をして、話して

いた。そこで、自分たちが何をや

ったのか、何をやるべきか

を理解しました。

▼大谷翔也 今初めて取材をして、話して

いることを文字にするのは大変だと感じた

が、それでも、自分の個性を見つけ出し、その情報を広げ

ていくことで良い作品へつなげられた感

じでいる。

▼澤井聰 人によっていろいろな表情

があり、同じような写真でも表情が少し違う

だけでも全く別の写真になってしま

う。だからこそ、自分が撮った写真

が、実際に取材をしないとわから

ないことが分かった。

▼古瀬皓也 レイアウトやメ

モリを決めて取材をして、話して

いた。そこで、自分たちが何をや

ったのか、何をやるべきか

を理解しました。

▼大谷翔也 今初めて取材をして、話して

いることを文字にするのは大変だと感じた

が、それでも、自分の個性を見つけ出し、その情報を広げ

ていくことで良い作品へつなげられた感

じでいる。

▼澤井聰 人によっていろいろな表情

があり、同じような写真でも表情が少し違う

だけでも全く別の写真になってしま

う。だからこそ、自分が撮った写真

が、実際に取材をしないとわから

ないことが分かった。

▼古瀬皓也 レイアウトやメ

モリを決めて取材をして、話して

いた。そこで、自分たちが何をや

ったのか、何をやるべきか

を理解しました。

▼大谷翔也 今初めて取材をして、話して

いることを文字にするのは大変だと感じた

が、それでも、自分の個性を見つけ出し、その情報を広げ

ていくことで良い作品へつなげられた感

じでいる。

▼澤井聰 人によっていろいろな表情

があり、同じような写真でも表情が少し違う